

法務省管情第580号
平成31年3月29日

地方入国管理局長 殿
地方入国管理局支局長 殿

法務省入国管理局長 佐々木聖子
(公印省略)

「乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領」の一部改正
について（通達）

今般、乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領の一部を別添のとおり改正したので、本年4月1日から実施されたく、通達します。

なお、これまでの通達等のうち本改正後の乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領と抵触する部分は、本改正後の乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領によることとします。

おって、管下出張所長に対しては、貴職から通知願います。

添付物

- 1 乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領 1部
- 2 乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領（見消し）
1部

本信写し送付先
入国者収容所長

乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領

平成31年4月1日
出入国在留管理庁

第1章 共通事項

第1 目的

本要領は、運送業者等から報告を受けた乗客予約記録（P N R : Passenger Name Record）及び事前旅客情報（A P I : Advance Passenger Information）に係る地方出入国在留管理官署における取扱いについて定め、これらを活用した厳格かつ円滑な上陸審査等を実施することを目的とする。

第2 用語の説明

1 乗客予約記録（P N R）

乗客予約記録（以下「P N R」という。）とは、出入国管理及び難民認定法（以下「法」という。）第57条第9項の規定に基づき、本邦に入る航空機を運航する運送業者等（以下「航空会社等」という。）が、当該航空機が出入国港に到着する前に入国審査官に対し報告を行う乗客の予約に関する記録をいう。

なお、入国審査官からの「乗客予約記録の報告に係る要請書」（別記第1号様式）に対し、航空会社等が「航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告書」（別記第2号様式）を提出の上、輸出入・港湾関連情報処理システム（以下「N A C C S」という。）を経由して報告を行うP N Rを「電子P N R」、システムが未整備等の理由により航空会社等がN A C C Sを経由せず紙媒体で報告を行うP N Rを「文書P N R」という。

電子P N Rは、原則として航空機の本邦への出発予定時間の72時間前及び出発後60分以内の2回、入国審査官に対して報告されるところ、前者を「72時間前報告」、後者を「出発後報告」という。

2 事前旅客情報（A P I）

事前旅客情報（以下「A P I」という。）とは、法第57条第1項の規定に基づき本邦に入る航空機等の長が、あらかじめ到着する出入国港の入国審査官に対し報告を行う、乗員及び乗客に係る事項等（氏名、国籍・地域、生年月日、旅券番号等）をいう。

なお、「航空通信情報利用による事前報告（代行手続）申出書」（別記第3号様式）

を当局に提出した航空会社等は、NACCSを経由し、電子的にAPIの報告をすることができる。

3 事前旅客情報システム（A P I S）

事前旅客情報システム（以下「A P I S」という。）とは、NACCSを経由してAPIの報告を行う航空会社等の航空便（以下「A P I S 参加便」という。）のAPIを電子的に受信し、[REDACTED]
[REDACTED]を行うことができるシステムをいう。

4 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

5 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

第3 業務体制

1 東京出入国在留管理局成田空港支局の業務体制

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(1) [REDACTED]

ア [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

ウ [REDACTED]

(2) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

ア [REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

ウ [REDACTED]

(3) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

ア [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

2 空港を管轄する地方入国管理官署の業務体制

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(1) [REDACTED]

[REDACTED]

(2) [REDACTED]

[REDACTED]

(3) [REDACTED]

[REDACTED]

第2章 乗客予約記録（P N R）

第1 PNR審査対象者

A horizontal bar chart illustrating the duration of time spent on different activities. The y-axis lists six activities, each associated with a black horizontal bar. The length of the bars indicates the time spent.

Activity	Time Spent
1	Extremely Long
2	Extremely Long
3	Extremely Long
4	Medium Long
5	Extremely Long
6	Medium Long

第2 電子PNR

1 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

2 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

3 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

4 [REDACTED]

(1) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(2) [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

第3
1 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
2 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
3 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
4 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

第4
1 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
2 [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

第5 航空会社等に対する文書P N Rの要請方法等

1 [REDACTED]

(1) 文書P N Rの要請方法

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED] 対象者に係る要請書(別
記第6号様式又は別記第6号の2様式)を作成し、
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED] 航空会社等に対し、要請書(原本)を提出して報告を求める。

(2) [REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

(3) [REDACTED]

ア [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
イ [REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

2 [REDACTED]

(1) [REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

(2) [REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

(3) [REDACTED]

[REDACTED]
[REDACTED]
[REDACTED]

3

(1)

[REDACTED]

(2)

[REDACTED]

(3)

[REDACTED]

4

[REDACTED]

第6 PNRの取扱いに係る留意事項

1 PNR情報の管理

PNRは、個人のプライバシーに係る多くの情報を有しており、特に電子PNRについては、全ての乗客の情報について報告を受けることから、厳重な管理の下、高度なセキュリティ対策を講じなければならない性質のものである。したがって、この要領に記載のある場合及び真に必要である場合を除き、PNR端末から情報を印刷したり、印刷した情報を複写してはならない。また、印刷したPNRの保管に際しては施錠可能なキャビネットで保管する等、情報の漏えい、紛失、誤廃棄等がないよう厳重な管理に努めなければならない。

2 電子PNRの行政文書としての保存

電子PNRは、NACCSからの送付を受けるPNRサーバ内に、保存期間5年の行政文書として保存する。

3 文書PNRの保管方法

な書庫等に保管する。

4 文書PNRの行政文書としての保存

文書PNR及び要請書の控えは行政文書として取り扱うこととし、これらの保存期間は5年間とする。

なお、文書PNRは、行政文書であるとともに個人情報が含まれていることから、紛失、漏えいしないよう取扱いには十分注意する。

5

第3章 事前旅客情報（A P I）

第1

1

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

2

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(1)

[REDACTED]

ア [REDACTED]

[REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

ウ [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

エ [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

オ [REDACTED]

[REDACTED]

(ア) [REDACTED]

[REDACTED]

(イ) [REDACTED]

[REDACTED]

(ウ) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(2) [REDACTED]

[REDACTED]

ア [REDACTED]

[REDACTED]

(ア) [REDACTED]

[REDACTED]

(イ) [REDACTED]

(ウ) [REDACTED]

(エ) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(オ) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

(ア) [REDACTED]

[REDACTED]

(イ) [REDACTED]

(ウ) [REDACTED]

(3) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

ア [REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

ウ [REDACTED]

[REDACTED]

3 [REDACTED]

[REDACTED]

4 各空港への連絡

5

第 2

1

(1)

(2)

(3)

2

3

第 3 到着港における上陸審査等

1 事前準備

2

第4 行政文書としての保存

NACCSを経由し電子的に報告を受けたAPIは、APISのサーバ内に、保存期間を1年未満の行政文書として保存する。

別記様式

別記第 1 号様式 乗客予約記録の報告に係る要請書

別記第 2 号様式 航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書（兼委託先登録依頼書）

別記第 3 号様式 航空通信情報利用による事前報告（代行手続）申出書（兼委託先登録依頼書）

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

別記第 6 号様式 乗客予約記録の報告に係る要請書

別記第6号の2様式 乗客予約記録の報告に係る要請書

[REDACTED]

[REDACTED]

乗客予約記録の報告に係る要請書

管 第 号
平成 年 月 日

〇〇〇〇航空 御中

〇〇出入国在留管理局〇〇〇〇支局（出張所）

首席審査官（首席審査官（出張所）又は巡回審査官（出張所））公印

平成 月 日から 空港に入港する貴社が運行する全ての便について、出入国管理及び難民認定法第57条第8項の規定に基づき、予約者の予約記録の報告を求めます。

なお、本報告は、輸出入・港湾関連情報処理システムにより行なって下さい。

（注1）報告は、直前の出発空港の出発予定時間の72時間前及び出発後60分以内の2回とします。

（注2）電気通信回線の故障等により報告できない場合は、直ちに出入国在留管理局に報告して下さい。

航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書兼 委託先登録依頼書

平成 年 月 日

○○出入国在留管理局 御中

申出者

氏名(名称及び代表権者の氏名)

電話番号

担当者

弊社は、下記規定に基づく旅客予約記録情報の報告について、航空通信情報をNACCSによる自動変換機能を利用して提出することを申し出ます。

根拠法令：出入国管理及び難民認定法第57条

(1) 代表利用者の利用者コード

--	--	--	--	--

(2) 手続きをを行う航空会社

登録区分	航空会社名	航空会社コード	空港コード	旅客予約記録情報（※） 委託先利用者コード1
1 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
2 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
3 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
4 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
5 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
6 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				

(※) 委託先利用者コード欄へ委託先の利用者コードを記載すると、委託先において変更・取消し・呼出・照会業務を可能となります。

行政機関担当者記入欄	システム登録者記入欄
------------	------------

つづき有無
<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

(注) この申請の内容に変更があった場合は、直ちに提出窓口へ申し出て下さい。

航空通信情報利用による事前報告(代行手続)申出書兼委託先登録依頼書

平成 年 月 日

(出入国在留管理局) 御中

(税関) 御中

(検疫所) 御中

申出者

氏名(名称及び代表権者の氏名)

電話番号

担当者

弊社は、下記規定に基づく乗組員及び旅客氏名表の報告について、航空通信情報をNACCSによる自動変換機能を利用して提出することを申し出ます。

出入国在留管理局：出入国管理及び難民認定法第57条

税 関：関税法15条第10項、同法15条の3第1項、関税法17条第1項

検 疫 所：検疫法11条

また、弊社は、下記航空会社が上記情報を提出する際の手続きについて代行することを申し出ます。

(1) 代表利用者の利用者コード

--	--	--	--

(2) 手続きをを行う航空会社

登録区分	航空会社名	航空会社コード	空港コード	乗組員氏名表(※)		旅客氏名表(※) 委託先利用者コード	手続開始日
				委託先利用者コード1	委託先利用者コード2		
1	<input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除						
2	<input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除						
3	<input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除						
4	<input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除						
5	<input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除						
6	<input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除						

(※)航空通信情報により報告した乗組員及び旅客氏名表の情報について、委託先において変更・取消し・呼出・照会業務を可能としたい場合は、委託する情報の委託先利用者コード欄へ委託先の利用者コードを記載下さい。

行政機関担当者記入欄

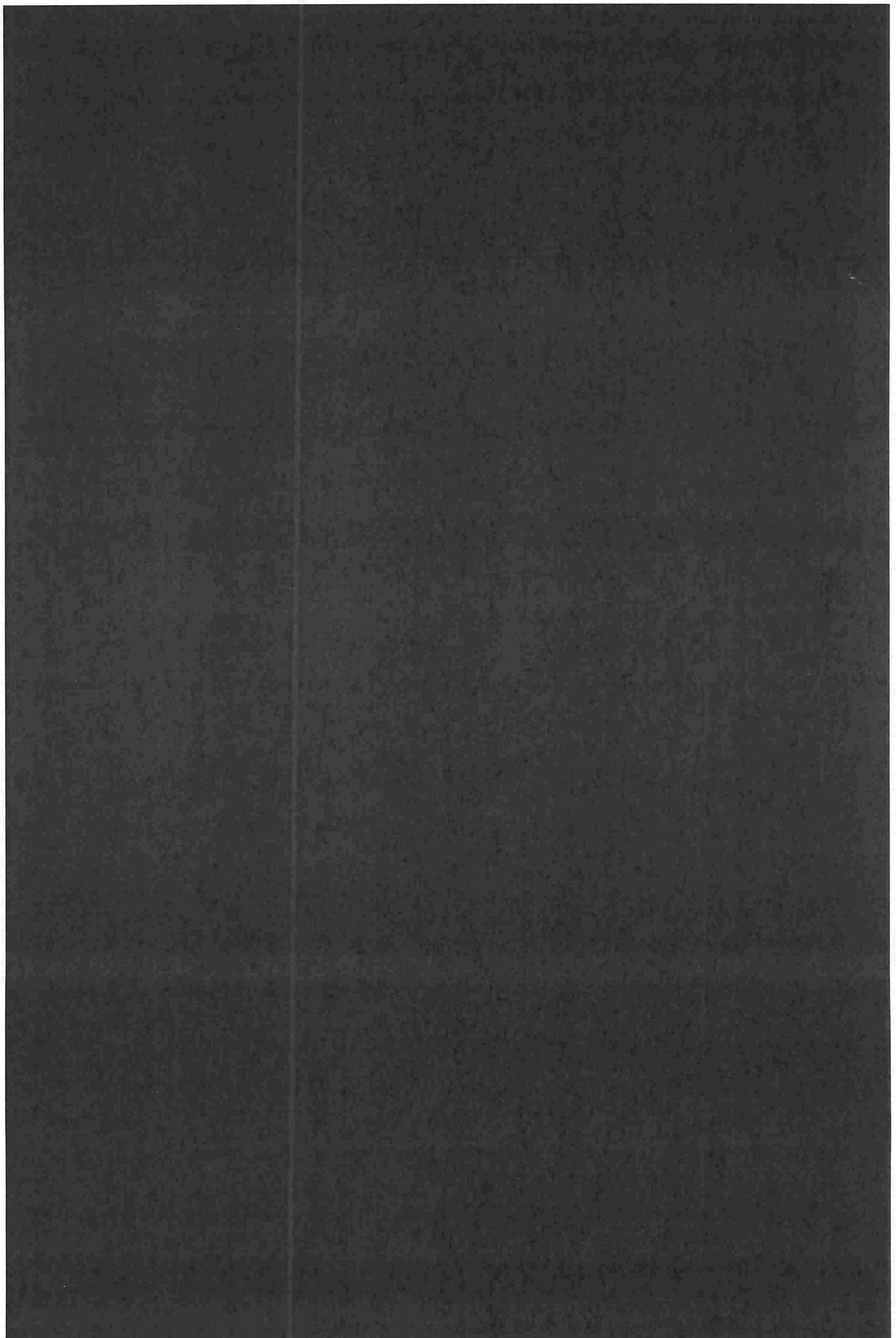
システム登録者記入欄

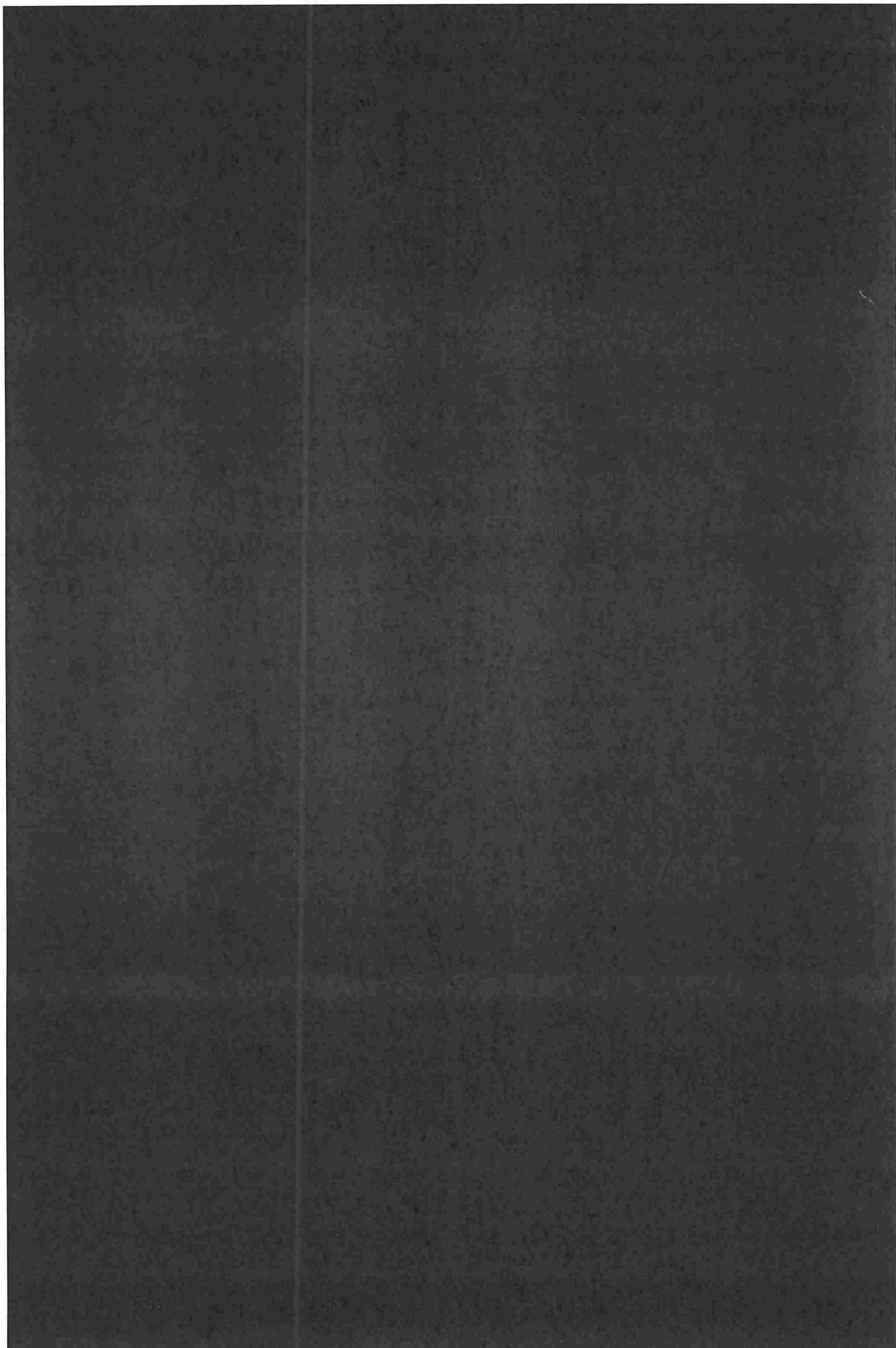
つづき有無

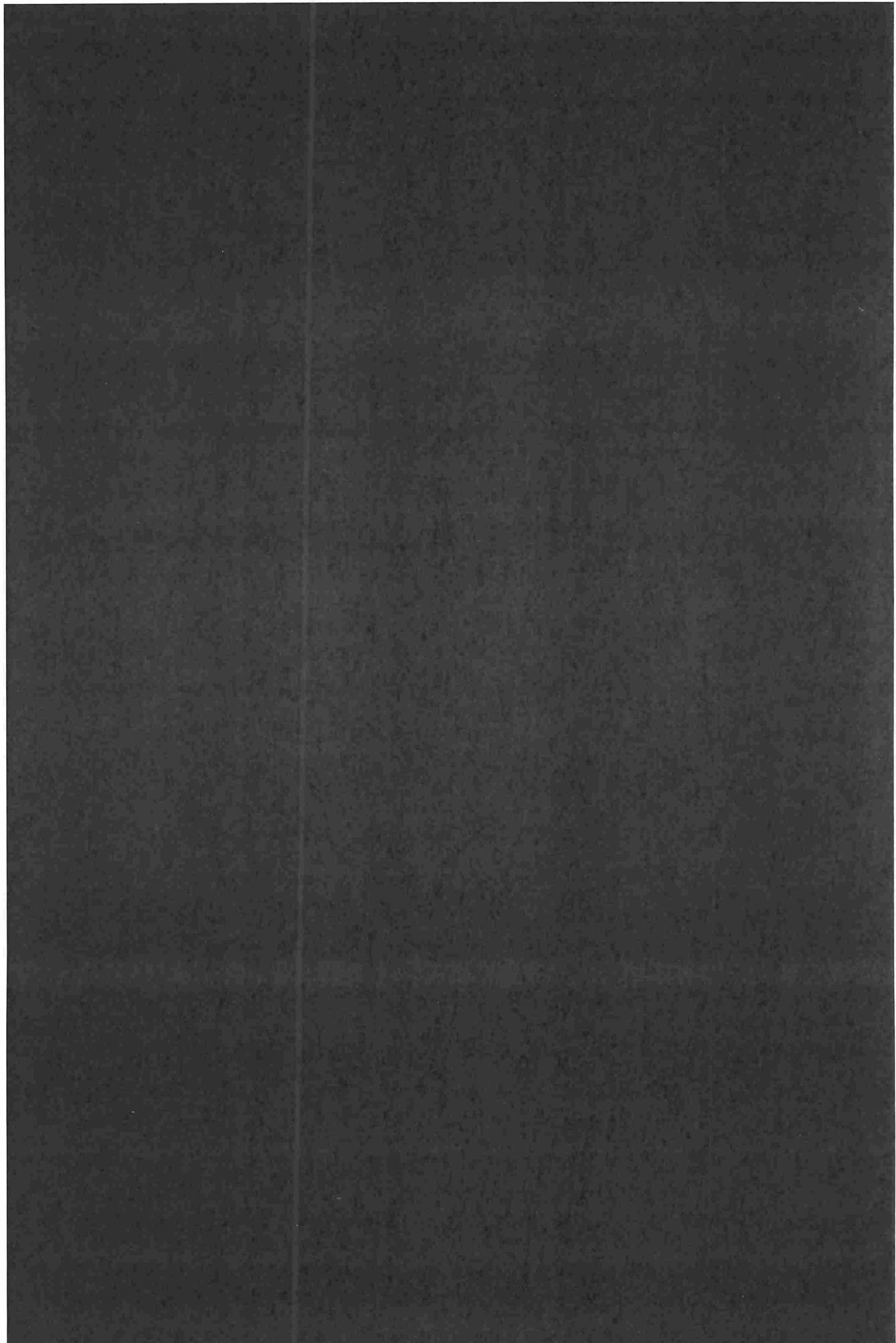
あり なし

(注) 1. この様式は、出入国在留管理局、税関、検疫所の各提出窓口へ1通ずつ提出して下さい。

2. この申請の内容に変更があった場合は、直ちに提出窓口へ申し出て下さい。







別記第6号様式

乗客予約記録の報告に係る要請書

管 第 号
平成 年 月 日

〇〇〇〇航空 御中

〇〇出入国在留管理局〇〇〇〇支局（出張所）

首席審査官（首席審査官（出張所長）又は統括審査官（出張所長））公印

出入国管理及び難民認定法第57条第8項の規定に基づき、下記の者に係る乗客
予約記録の報告を求めます。

記

- 1 国籍・地域
- 2 氏名・性別
- 3 生年月日
- 4 旅券番号
- 5 搭乗日
- 6 搭乗便名

別記第6号の2様式

乗客予約記録の報告に係る要請書

管 第 号
平成 年 月 日

○○○○航空 御中

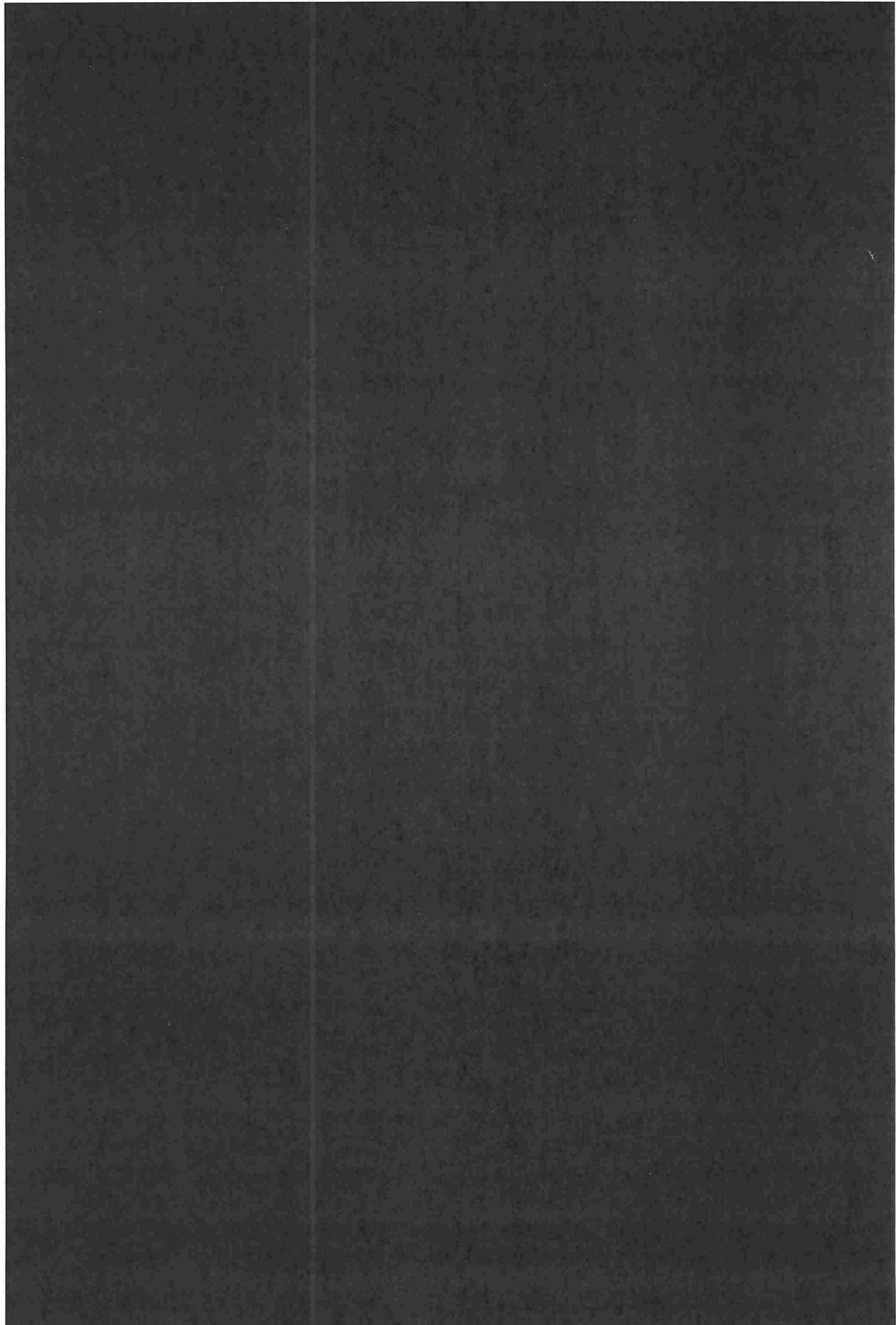
○○出入国在留管理局○○○○支局（出張所）

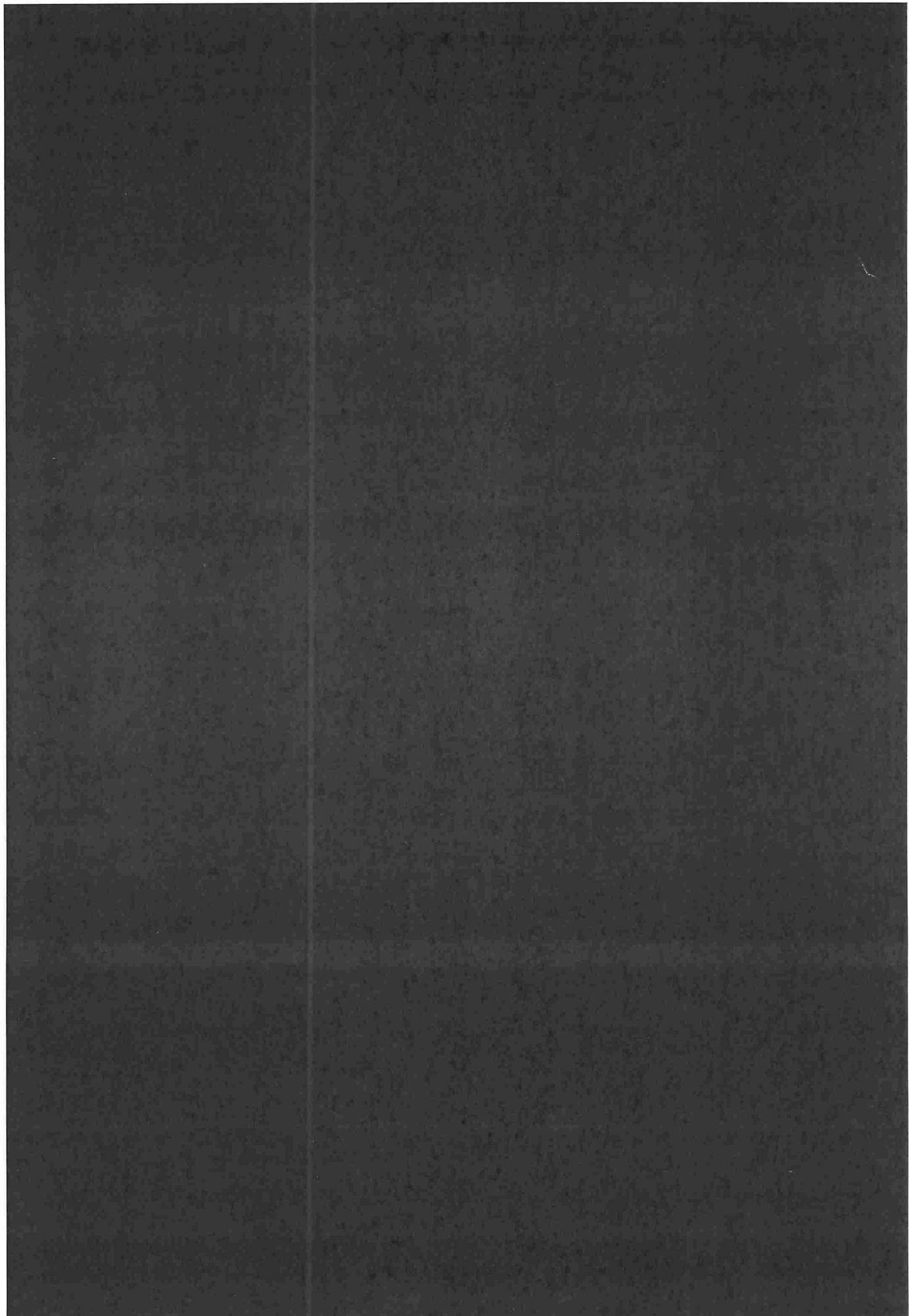
首席審査官（首席審査官（出張所長）又は統括審査官（出張所長）） 公印

出入国管理及び難民認定法第57条第8項の規定に基づき、下記の者に係る乗客
予約記録の報告を求めます。

記

○○○○○便（到着予定日○○月○○日）の乗客のうち、国籍・地域を○○とする
全ての者





乗客予約記録（P N R）及び事前旅客情報（A P I）運用要領

平成29年2月16日

平成31年4月1日

法務省出入国在留管理局

第1章 共通事項

第1 目的

本要領は、運送業者等から報告を受けた乗客予約記録（P N R : Passenger Name Record）及び事前旅客情報（A P I : Advance Passenger Information）に係る地方出入国在留管理官署における取扱いについて定め、これらを活用した厳格かつ円滑な上陸審査等を実施することを目的とする。

第2 用語の説明

1 乗客予約記録（P N R）

本要領において、乗客予約記録（以下「P N R」という。）とは、入管法出入国管理及び難民認定法（以下「法」という。）第57条第9項の規定に基づき、本邦に入る航空機を運航する運送業者等（以下「航空会社等」という。）が、当該航空機が出入国港に到着する前に入国審査官に対し報告を行う乗客の予約に関する記録をいう。

なお、入国審査官からの「乗客予約記録の報告に係る要請書」（別記第1号様式）に対し、航空会社等が「航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告書」（別記第2号様式）を提出の上、航空会社等が輸出入・港湾関連情報処理システム（以下「N A C C S」という。）を経由して報告を行うP N Rを「電子P N R」、システムが未整備等の理由により航空会社等がN A C C Sを経由せず紙媒体で報告を行うP N Rを「文書P N R」という。

電子P N Rの報告を行う航空会社等の把握については「航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書」（別記第2号様式）を受領することによって行う。

電子P N Rは、原則として航空機の本邦への出発予定時間の72時間前及び出発後60分以内の2回、入国審査官に対して報告されるところ、前者を「72時間前報告」、後者を「出発後報告」という。

2 事前旅客情報（A P I）

本要領において、事前旅客情報（以下「A P I」という。）とは、入管法第57

条第1項の規定に基づき本邦に入る航空機等の長が、予あらかじめ到着する出入国港の入国審査官に対し報告を行う、乗員及び乗客に係る事項等（氏名、国籍・地域、生年月日、旅券番号等）をいう。

なお、「航空通信情報利用による事前報告（代行手続）申出書」（別記第3号様式）を当局に提出した航空会社等は、NACCSを経由し、電子的にAPIの報告をすることができる。

3 事前旅客情報システム（A P I S）

本要領において、事前旅客情報システム（以下「A P I S」という。）とは、NACCSを経由してAPIの報告を行う航空会社等の航空便（以下「A P I S参加便」という。）のAPIを電子的に受信し、
当局において、入港届、乗員及び乗客名簿、乗員上陸許可申請書等を印刷するを行うことができるシステムを*=*

4 [REDACTED]

5 [REDACTED]

第3 業務体制

1 東京出入国在留管理局成田空港支局の業務体制

(1) [REDACTED]

ア [REDACTED]

[REDACTED]

イ [REDACTED]

ウ [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

(2) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

ア [REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

ウ [REDACTED]

[REDACTED]

(3) [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

ア [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

イ [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

2 空港を管轄する地方入国管理官署（~~東京入国管理局成田空港支局を除く。~~）の業務体制

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

- [REDACTED]
- (1) [REDACTED]
- [REDACTED]
- (2) [REDACTED]
- [REDACTED]
- (3) [REDACTED]
- [REDACTED]

第2章 乗客予約記録（P N R）

第1 定義

1

2

3

4

5

6

7

8

9

10

第2 P N R取得審査対象者

1

2

3

4

5

6

7

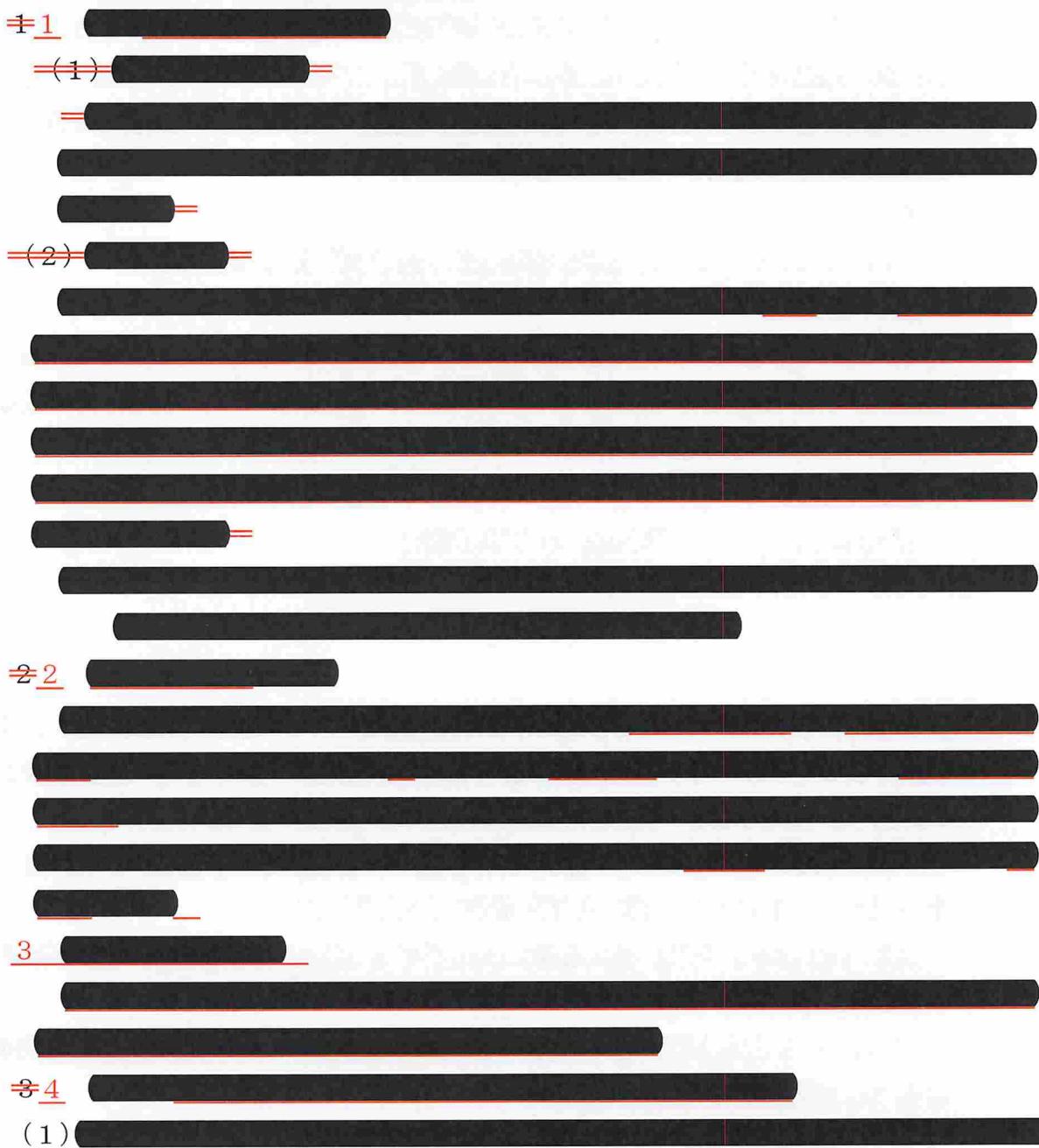
8

9

10



第3 2 電子 P N R



(2)

(3)

第34

1

1

2

3 ~~1~~

4 ~~2~~

第4 ~~5~~

1

2

第5 ~~6~~ 航空会社等に対する文書P N Rの要請方法等

1

~~(1)~~

~~(2)~~ 1

文書P N Rの要請方法

①

対象者に係る要請書（別記第6号様式又は別記第6号の2様式）を作成し、

②

PNR取得対象者が搭乗する航空便を運航する航空会社等に対し、要請書（原本）を提出して、PNR取得対象者に係る文書PNRの報告を求める。

③

(2)

(3)

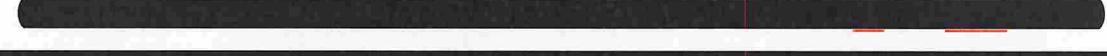
⑥ア




 1 = 

2 

(1) 







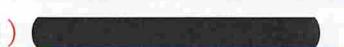
(2) 







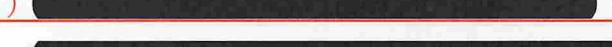


(3) 

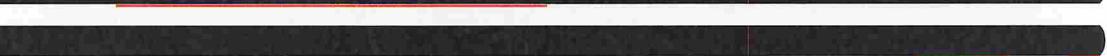




3 

(1) 

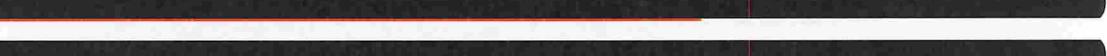




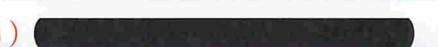


(2) 







(3) 



4

第76 PNRの取扱いに係る留意事項

1 PNR情報の管理

PNRは、個人のプライバシーに係る多くの情報を有しており、特に電子PNRについては、全ての乗客の情報について報告を受けることから、厳重な管理の下、高度なセキュリティ対策を講じなければならない性質のものである。したがって、この要領に記載のある場合及び真に必要となったある場合を除き、みだりに PNR端末から情報を印刷したり、印刷した情報を複写してはならない。また、印刷したPNRの保管に際しては施錠可能なキャビネットで保管する等、情報の漏えい、紛失、誤廃棄等がないよう厳重な管理に努めなければならない。

2

23 電子PNRの行政文書としての保存

電子PNRは、NACCSからの送付を受けるPNRサーバ内に、保存期間5年の行政文書として保存する。

3 文書PNRの保管方法

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

施錠可能な書庫等に保管する。

- 4 文書P N Rの行政文書としての保存文書P N Rは、施錠可能な書庫等に保管する。
5 文書P N R及び要請書の(控え)は行政文書として取り扱うこととし、これらの保存期間は5年間とする。
6 なお、文書P N Rは、行政文書であるとともに個人情報が含まれていることから、紛失、漏えいしないよう取扱いには十分注意する。

7 5 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

第3章 事前旅客情報（A P I）

第 1

www.english-test.net

— 1 —

1

© 2013 Pearson Education, Inc.

www.english-test.net

Digitized by srujanika@gmail.com

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

www.nature.com/scientificreports/

A solid black horizontal bar located at the bottom of the page.

© 2013 Pearson Education, Inc.

Figure 1. A schematic diagram of the experimental setup. The laser beam passes through a lens and a polarizer, and is focused onto the sample surface. The reflected light is collected by a lens and imaged onto a camera.

ANSWER The answer is 1000.

2

www.english-test.net

(1)

1

ア

[View Details](#) [View Details](#) [View Details](#) [View Details](#)

1

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

1. [View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

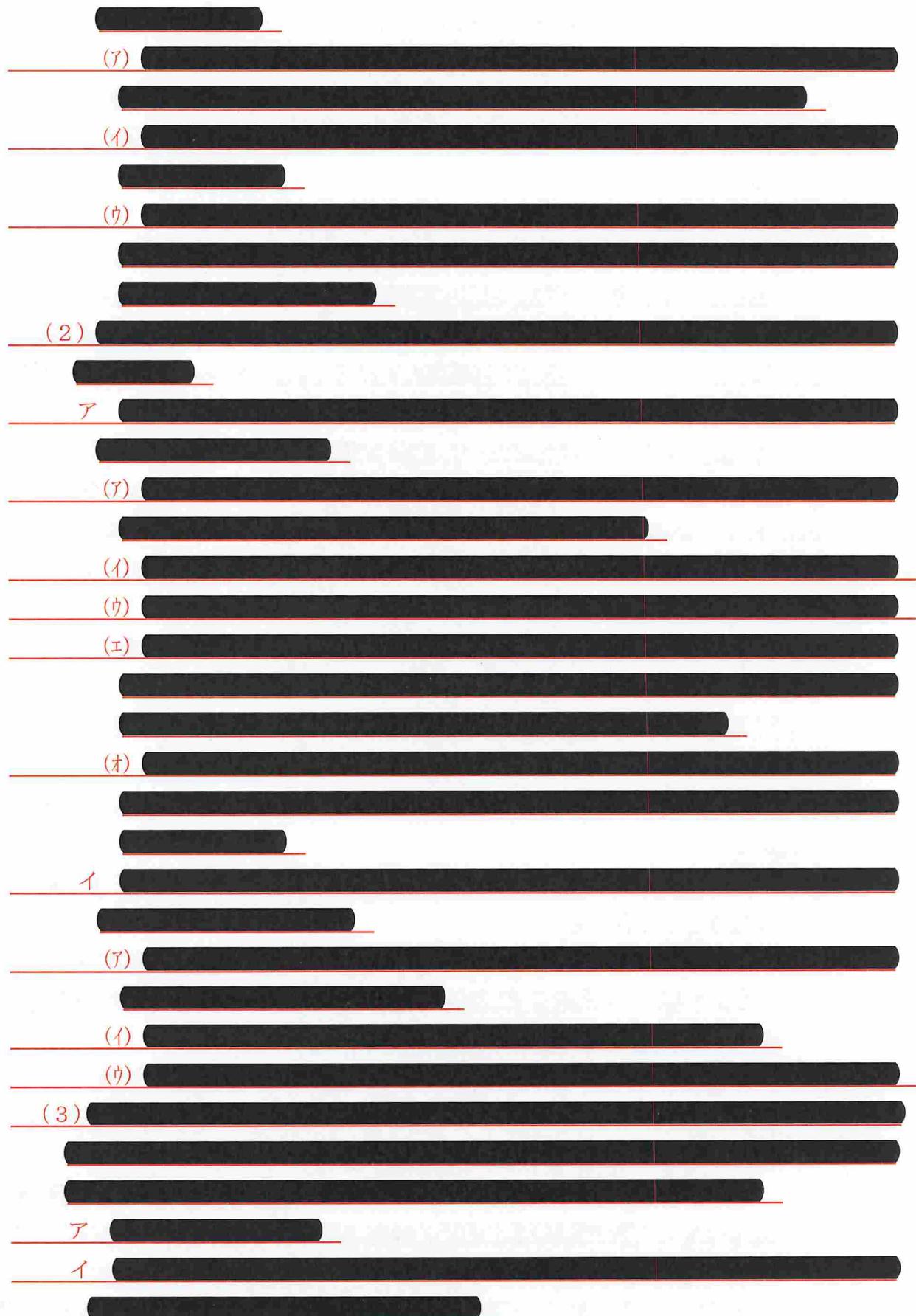
[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)

工

© 2019 Pearson Education, Inc.

[View Details](#) | [Edit](#) | [Delete](#)



ウ

エ 3

4 各空港への連絡

5 エ

第 2

1

(1)

(2)

(3)

2

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

3 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

第3 到着港における上陸審査等

1 事前準備

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

2 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

第4 行政文書としての保存

NACCSを経由し電子的に報告を受けたAPIは、APISのサーバ内に、保存期間を1年未満の行政文書として保存する。

別記様式

別記第1号様式 乗客予約記録の報告に係る要請書

別記第2号様式 航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書（兼委託先登録依頼書）

別記第3号様式 航空通信情報利用による事前報告（代行手続）申出書（兼委託先登録依頼書）

[REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

別記第6号様式 乗客予約記録の報告に係る要請書

別記第6号の2様式 乗客予約記録の報告に係る要請書 [REDACTED]

[REDACTED]

[REDACTED]

別記第1号様式

乗客予約記録の報告に係る要請書

管 第 号
平成 年 月 日

○○○○航空 御中

○○出入国在留管理局○○○○支局（出張所）

首席審査官（首席審査官（出張所長）对統審査官（出張所長））公印

平成 月 日から 空港に入港する貴社が運行する全ての便について、出入国管理及び難民認定法第57条第8項の規定に基づき、予約者の予約記録の報告を求めます。

なお、本報告は、輸出入・港湾関連情報処理システムにより行なって下さい。

(注1) 報告は、直前の出発空港の出発予定時間の72時間前及び出発後60分以内の2回とします。

(注2) 電気通信回線の故障等により報告できない場合は、直ちに出入国在留管理局に報告して下さい。

航空通信情報利用による旅客予約記録情報報告申出書兼 委託先登録依頼書

平成 年 月 日

○○出入国在留管理局 御中

申出者

氏名(名称及び代表権者の氏名)

電話番号

担当者

弊社は、下記規定に基づく旅客予約記録情報の報告について、航空通信情報をNACCSによる自動変換機能を利用して提出することを申し出ます。

根拠法令：出入国管理及び難民認定法第57条

(1) 代表利用者の利用者コード

--	--	--	--

(2) 手続きをを行う航空会社

登録区分	航空会社名	航空会社コード	空港コード	旅客予約記録情報（※） 委託先利用者コード1
1 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
2 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
3 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
4 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
5 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				
6 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除				

（※）委託先利用者コード欄へ委託先の利用者コードを記載すると、委託先において変更・取消し・呼出・照会業務を可能となります。

行政機関担当者記入欄	システム登録者記入欄
------------	------------

つづき有無
<input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし

(注) この申請の内容に変更があった場合は、直ちに提出窓口へ申し出て下さい。

航空通信情報利用による事前報告(代行手続)申出書兼委託先登録依頼書

平成 年 月 日

(出入国在留管理局) 御中

(税関) 御中

(検疫所) 御中

申出者

氏名(名称及び代表権者の氏名)

電話番号

担当者

弊社は、下記規定に基づく乗組員及び旅客氏名表の報告について、航空通信情報をNACCSによる自動変換機能を利用して提出することを申し出ます。

出入国在留管理局：出入国管理及び難民認定法第57条

税 関：関税法15条第10項、同法15条の3第1項、関税法17条第1項

検 疫 所：検疫法11条

また、弊社は、下記航空会社が上記情報を提出する際の手続きについて代行することを申し出ます。

(1) 代表利用者の利用者コード

--	--	--	--

(2) 手続きをを行う航空会社

登録区分	航空会社名	航空会社コード	空港コード	乗組員氏名表(※)		旅客氏名表(※) 委託先利用者コード	手続開始日
				委託先利用者コード1	委託先利用者コード2		
1 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除							
2 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除							
3 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除							
4 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除							
5 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除							
6 <input type="checkbox"/> 追加 <input type="checkbox"/> 削除							

(※)航空通信情報により報告した乗組員及び旅客氏名表の情報について、委託先において変更・取消し・呼出・照会業務を可能としたい場合は、委託する情報の委託先利用者コード欄へ委託先の利用者コードを記載下さい。

行政機関担当者記入欄

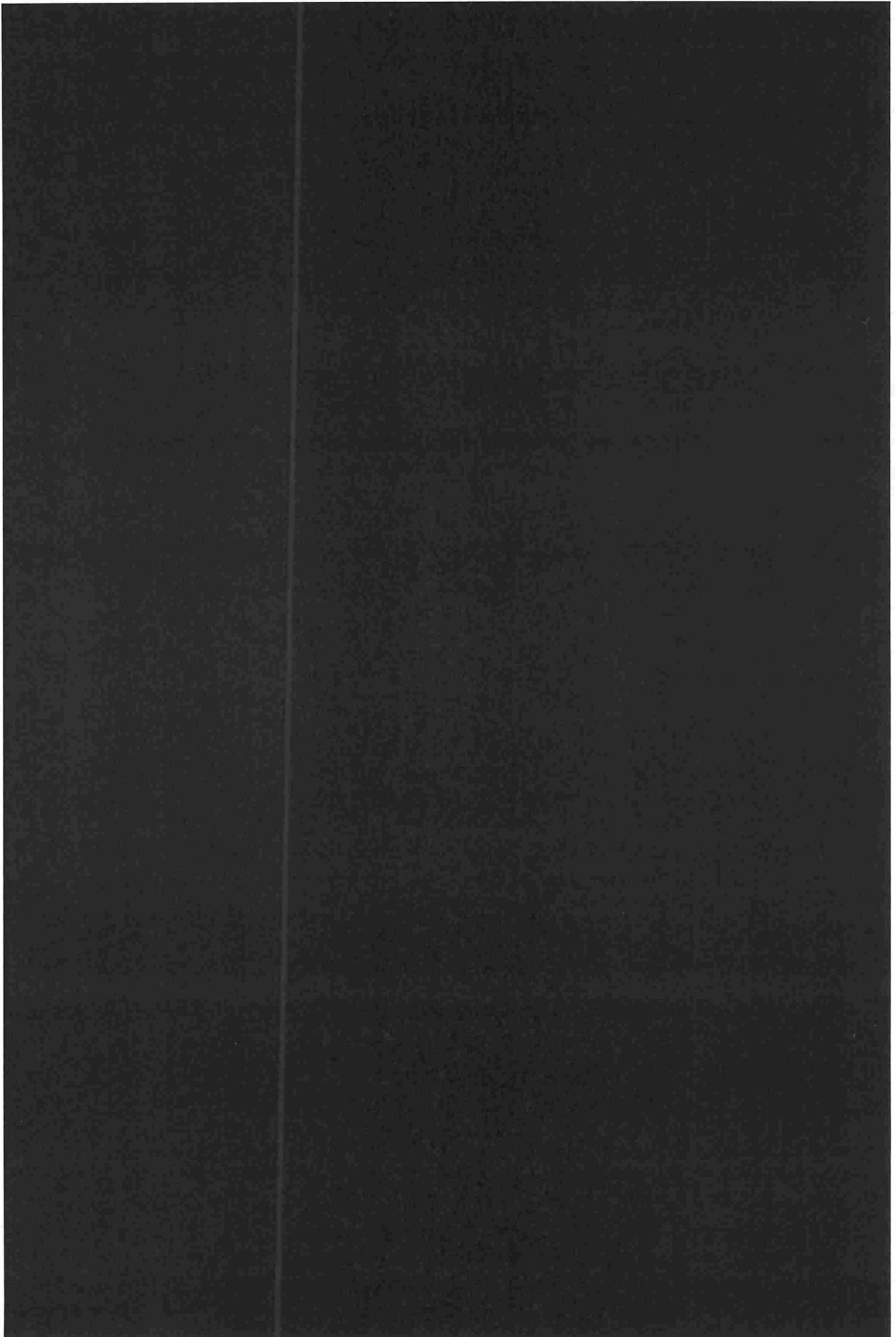
システム登録者記入欄

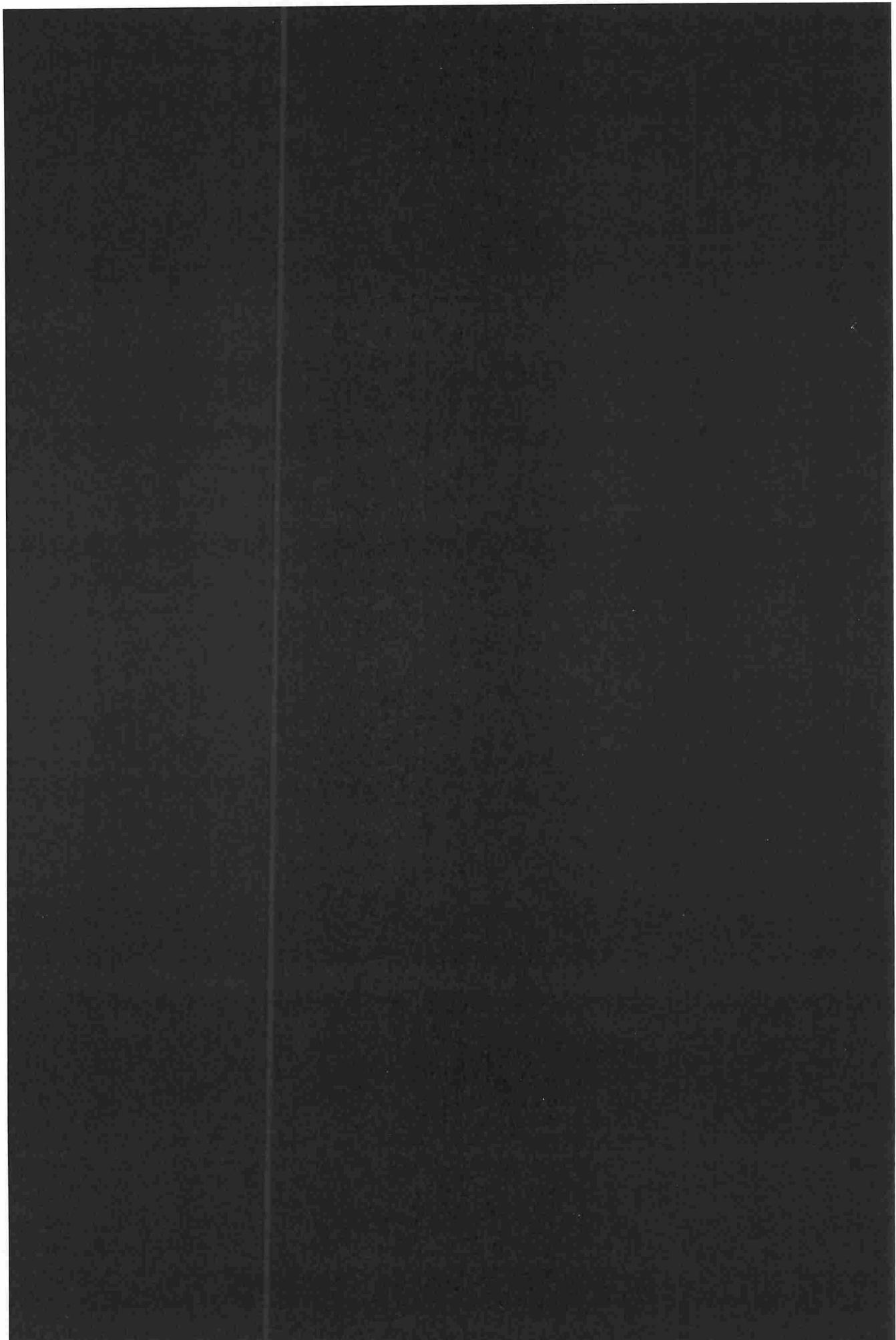
つづき有無

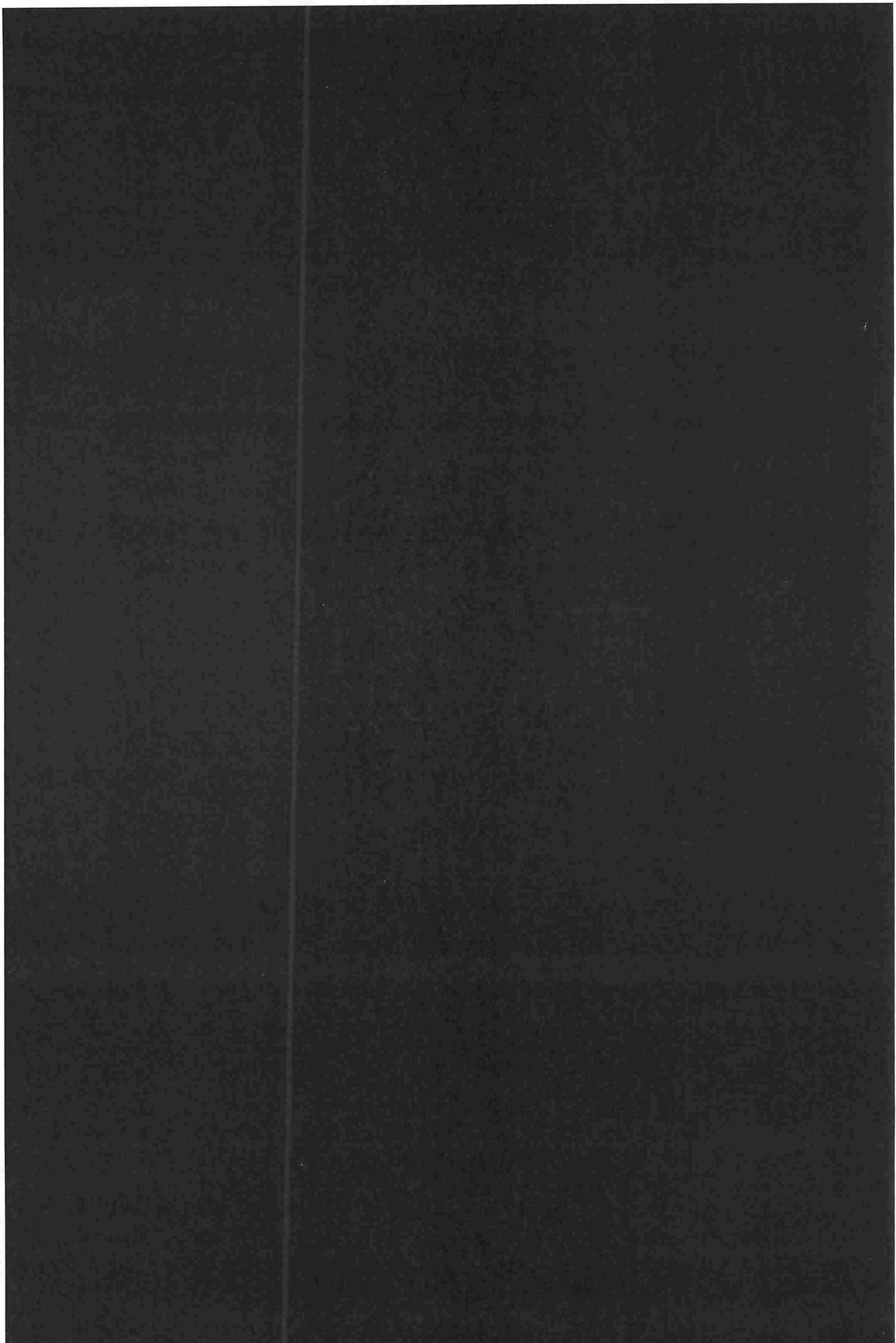
 あり なし

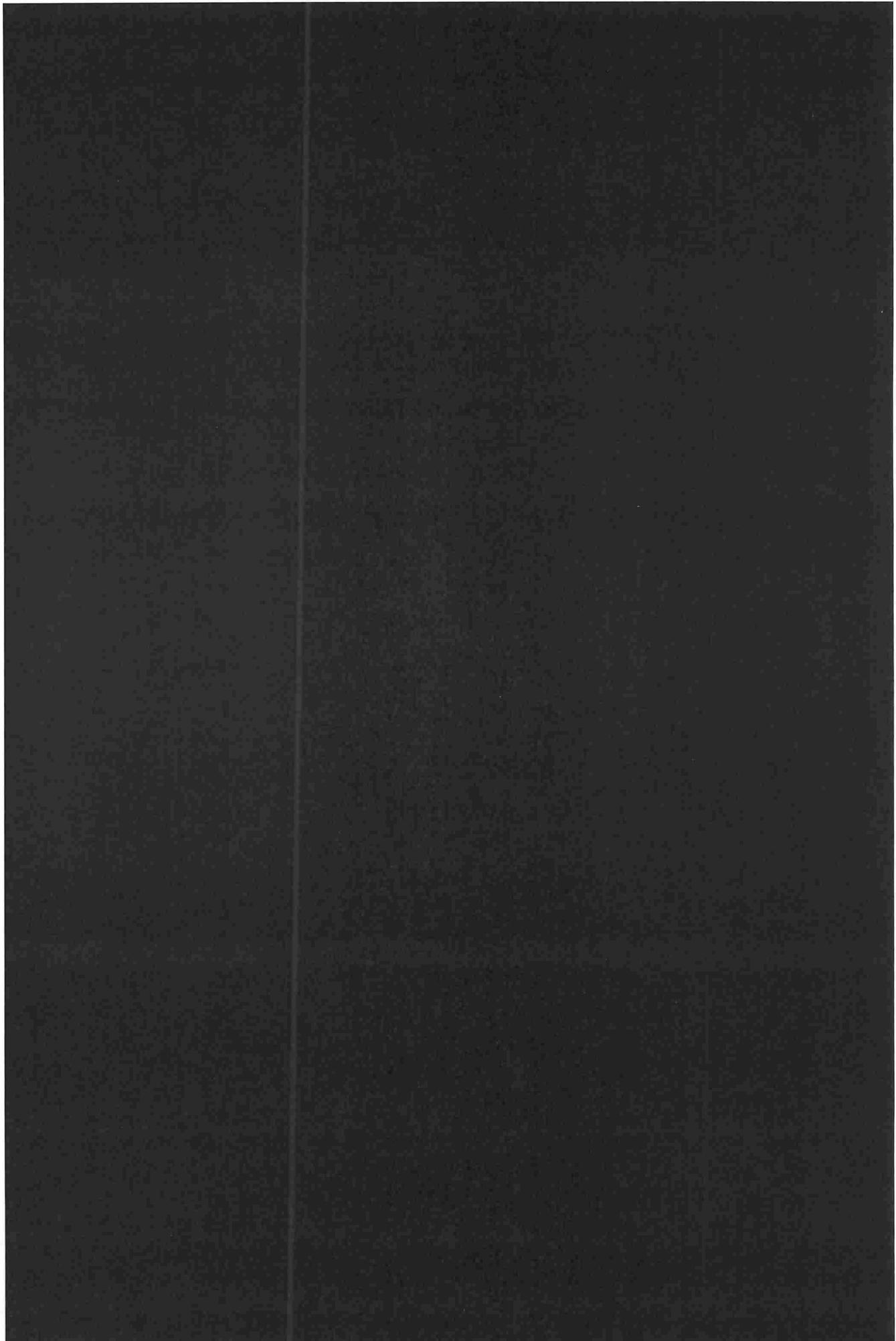
(注) 1. この様式は、出入国在留管理局、税関、検疫所の各提出窓口へ1通ずつ提出して下さい。

2. この申請の内容に変更があった場合は、直ちに提出窓口へ申し出て下さい。









別記第6号様式

乗客予約記録の報告に係る要請書

管 第 号
平成 年 月 日

○○○○航空 御中

○○出入国在留管理局○○○○支局（出張所）

首席審査官（首席審査官（出張所長）又は統括審査官（出張所長））公印



出入国管理及び難民認定法第57条第8項の規定に基づき、下記の者に係る乗客予約記録の報告を求めます。

記

- 1 国籍・地域
- 2 氏名・性別
- 3 生年月日
- 4 旅券番号
- 5 搭乗日
- 6 搭乗便名

別記第6号の2様式

乗客予約記録の報告に係る要請書

管 第 号
平成 年 月 日

○○○○航空 御中

○○出入国在留管理局○○○○支局（出張所）

首席審査官（首席審査官（出張所長）又は統括審査官（出張所長））公印



出入国管理及び難民認定法第57条第8項の規定に基づき、下記の者に係る乗客予約記録の報告を求めます。

記

○○○○○便（到着予定日○○月○○日）の乗客のうち、国籍・地域を○○とする全ての者

